彩湖自然学習センターミニ図鑑

夏が来ました！学習センターのまわりは緑でいっぱい。ここで見られる植物を紹介するよ。
ミニ図鑑を持って夏を探検しよう～

彩湖の夏をさがそう
６～８月版

みつけたよ！☑BOX ✔

みつけた植物に　☑（もしくは日付）を書こう！
いくつ見つかるかな？

ヤマグワ（木）
甘くて美味しいクワの実は5～6月が食べごろ。でも鳥たちのごちそうなので、人間の皆さんはちょっとだけね。クワコやクワカミキリ見つかるかな？

ハンゲショウ
花が咲くころ（6～7月）葉が半分白くなり、花が終わると緑色に戻ります。水辺や湿地に生える多年草です。

ドクダミ
独特の臭いがある多年草。ミニ彩湖の木道周辺にたくさん出ます。春の講座ではドクダミ茶を作ります。

ガガイモ
1cm大の毛深い薄紫色の花を咲かせます。ザリガニ池の向かい側で見られます。つる性の多年草。

アカツメクサ
シロツメクサより大型。初夏から秋にかけて赤紫色の花をつけます。

マテバシイ（木）
センター入り口にあるシンボルツリー。白いブラシ状の花を咲かせます。ほんのりよい香り。

ヒシ
葉の形が「菱形」の語源。忍者の武器「まきビシ」はヒシの種子。花期は6～10月。

ショウブ
全体に芳香があり、葉は端午の節句の菖蒲湯に使われます。

フトイ
イ（イグサ）より名くトカ太いからこのように。四角池にたくさん生えます。トカダスゲと同じヤツリグサ科。

アゼナルコ
湿地を好む大型下ススッうすいのがょ子このの名がありまこす。

ミコシガヤ
花序の形を神輿に見立てたことから。他のスミ二彩湖周辺に咲きます。

ヤワラスゲ
柔らかそうに見えるからヤワラスゲ。湿地を好む多年草で、ミニ彩湖の水際に多数咲きます。

イヌヌマトラノオ
7～8月、小花を多数つけます。垂れ下がった姿は「トラの尾」に見えるかな？

ツユクサ
気孔の観察で小学生にはおなじみの草。6～10月ころ青色の花を咲かせます。開花は午前中。

ヤブカンゾウ
7月ころハ重咲きの大きな花を咲かせます。だいだい色が緑に映えてきれい。

ヤブガラシ
藪（やぶ）や荒れ地などに生えるつる性の多年草。藪を枯らすほどに繁茂することからこの名に。

タコノアシ
6月ミニ彩湖と四角池の水際に白い小花を咲かせます。絶滅危惧種に指定されています。

ミソハギ
山野の湿地に生える多年草。うら盆の精霊棚に水をかけるのに使われたことからこの名がつきました。花期は7～9月。

ハルシャギク
6月、ザリガニ池の入り口付近に咲きます。黄色とオレンジが目を引きます。

ヘクソカズラ
葉や茎をもむと悪臭がするので、この名があります。秋に実る黄土色の実は鳥のごちそうです。

ヒメガマ
茶色いソーセージのような部分が花。8月ころ、四角池の西側でたくさん見られます。

ヒメジョオン
ハルジオンとそっくりですね。葉が茎を抱かないのが「ヒメ」の方です。比べてみてね。

ヒルガオ
夏の日盛り（正午～15時ころ）に花を咲かせることからこの名があります。茎のつるは左巻き。